

中国での新型コロナ感染拡大について

JSC 貿易部ニュース 中国編

春分の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は特段のご愛顧にあずかり誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が始まってから、この春で早3年目に突入します。買い物、働き方、外食といった私たちの日常生活は、“三密の回避”、“在宅勤務”や“リモートワーク”、“ソーシャルディスタンス”といったキーワードに示されるように、従来とは大きく異なるものになってしまいました。



日常生活が大きく変わったのは中国も同じです。左の写真は、崇武地区のロックダウンの様子です。道路が封鎖され隣のブロックにさえ自由に行き来することはできません。

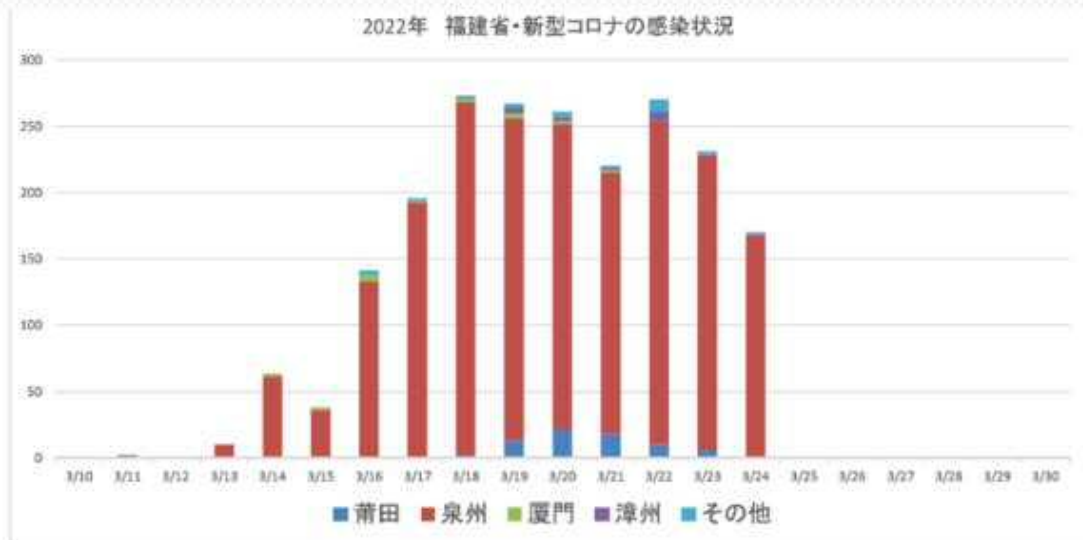
厳格な防疫体制を敷いてきた中国でも3月中旬ごろから新型コロナウイルスの感染再拡大が続いています。

3月22日時点の情報ですが、中国本土で治療を受けている感染確認者数は2万6892人（内、海外からの帰国者、入国者が1182人）で重傷者は50人（同じく1人）。無症状の患者2万7046人（同じく1455人）が監察下にあるとの事です。

中国当局は、これまで新型コロナの感染拡大や拡散を防止するために「動態清零（ゼロコロナ政策）」を徹底して進めてきました。具体的にはロックダウン、PCR検査による全市民対象のスクリーニング、区域を跨ぐ移動の制限、飲食店等の特定業種に対する営業制限等の措置が挙げられます。しかしながら、昨年11月下旬以降、各地で散発的な再流行が断続的に出現。省市区を越えて伝播したものもあるなど、「ゼロ」では抑えきれない状況が出てきています。

また、香港では2月以降、感染者数が急増しており、依然として高止まりが続く状況です。目下、香港ではステルスオミクロンの伝播が主となっているとも言われています。

下のグラフは福建省各地区の新規感染者の推移を表にしたものです。



〔日付〕	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	
莆田								1	2	13	22	18	10	6								
泉州				10	61	36	133	192	266	243	230	197	244	222	168							
廈門		1			2	2	5	1	3	4	2	2										
漳州		1						1	4	3	2	7	1	1								
その他							3	2	1	3	4	1	9	2	1							
合計	0	2	0	10	63	38	141	196	273	267	261	220	270	231	170	0	0	0	0	0	0	0

*無症状感染者を含む

グラフを見ても泉州エリアの感染者数が圧倒的に多くなっています。直近は、やや減少傾向にあるものの、昨年9月に福建省で感染が拡大した際にも、収束まで1カ月程度の期間を要したことを考えると、墓石製品の生産や出荷への影響は避けられないと思われます。

全国のお客様に大変なご心配をおかけしている福建省の新型コロナの感染拡大ですが、3月25日現在の各地区の石材工場の状況を詳しくお知らせ致しますと、

崇武地区は「ロックダウン」状態となっており、工場の操業停止だけでなく交通規制や道路封鎖の影響で港への製品輸送ができないなど出荷に大きな影響が出ています。

操業再開の見通しについても現地工場の見立ては分かれています。このままPCR検査で新規感染者数ゼロが続けば、「3月末～4月初めには解除になるのでは？」という楽観論と、「もう少し長い期間様子を見てからでないかと政府は解除しないのでは？」という二つの見立てに分かれています。

例えば、惠安地区の工場は、限られた人員で操業可能なところもありますが、トラックや人の往来は崇武地区同様に規制されおり、港までの製品輸送の目途が立ちません。

手加工品などを生産している晋江地区についても同様で、工場内での生産は可能ですが、一部トラック輸送の目途が立っていないところがあります。

南安石井、同安、漳州、康美地区については、3月25日現在、生産自体も行われており出荷についても問題なさそうです。しかし、こちらも感染状況次第ということで安心はできません。また、ブラスト彫刻や象嵌加工など崇武に運ばなければ加工できないものは、出荷できない可能性が高いです

今のところ出荷ができている地区の工場も、従業員が頻繁にPCR検査を受けないといけない事情は同じで、平時の生産能力を維持することはできていません。また、厦門出港の船につきましても、多くは香港などを経由して厦門港に入港するため、感染者の高止まりが続く香港で停泊したまま、厦門港に入港できない状況なども見受けられます。

今週1週間だけの短期的な問題ではなく、数週間もしくは月単位の影響に発展していく可能性もありますのでご注意ください。

お客様におかれましても、大変ご不便をお掛け致しますが、特に納期に関しましては通常以上に余裕を持ったご説明をいただくなど協力をお願い申し上げる次第です。

下の写真は当社社員の報告資料の一部です。崇武地区では7回目の全市民対象（約11万人）のPCR検査が行われています。大行列になっていますが、この検査があと2~3回は行われる可能性があるそうです。並ぶだけでも大変そうです。



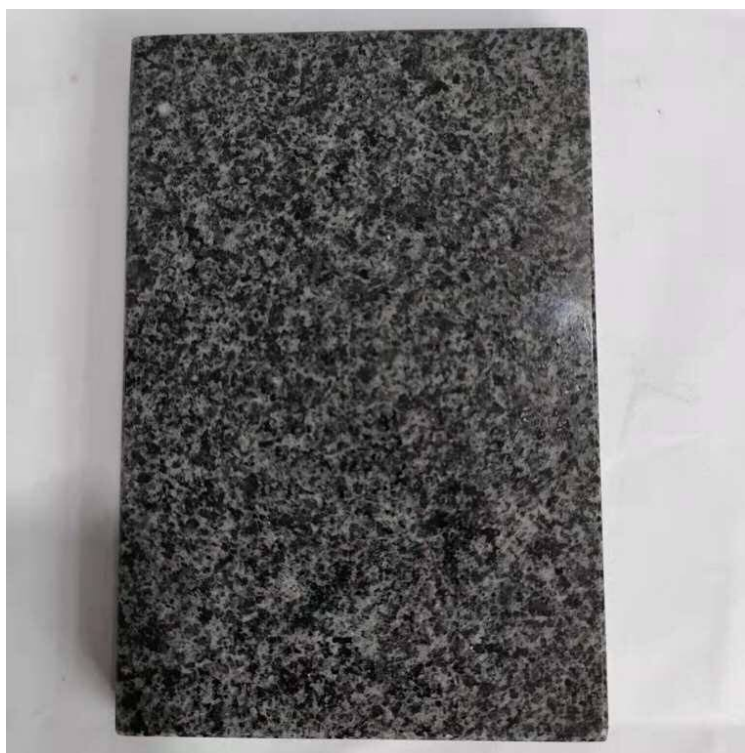
今月の石種情報：「G654 平和」 産地：福建省漳州市

「栗花石」とも呼ばれ、全国的に使用されてきた中間色系の石「G 6 5 4 平和」。
丁場が閉鎖され、一時は全く工場に原石が入らない状態が続きましたが、現在当社の
パートナー工場二社で生産が可能です。

取扱いが完全にできなくなったという認識をお持ちのお客様もいらっしゃるのではと思い
当メルマガで簡単にご紹介をさせていただきます！

不安定な654系の石種が多い中、相対的に見ると吸水も低く、石質、在庫量ともに安定
しています。和型、洋型、外柵など使用範囲も広く人気のあった石ですので、よろしけれ
ばご検討ください。

在庫量は合計 320 m³以上、長物は 10
尺くらいまで、天板材 4 尺角、取る
ことが可能です。



ご興味ございましたら、弊社営業員までお問い合わせくださいませ。

今月のメルマガはここまでとなります。日本、中国に限らず、世界中が大変な状況です。

皆様のご健康と、ますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。新年度 4 月からも変わ
らぬご愛顧賜りますようお願い申し上げます。